

技能実習生の受入れに関する実態アンケートの要領

1 調査の目的

育成就労制度の受入れ対象分野（育成就労産業分野）は、特定技能制度の受入れ対象分野（特定産業分野）から選定することとされています。すなわち、現在、技能実習生を受け入れていても、対応する特定産業分野がなければ、育成就労制度での受入れができなくなる可能性があります。

そこで、実習実施者（職種・作業（業務））のうち、制度見直し後の育成就労制度でも引き続き受入れを希望するものの、特定産業分野に属しないものについては、政府において必要な対応を検討することとしています。そのため、対象となる実習実施者（職種・作業（業務））を把握するために調査を行うものです。

2 本調査で把握したい者

以下のいずれにも該当する実習実施者

- (1) 特定技能制度において行わせることができない業務で技能実習生を受け入れている実習実施者
- (2) 育成就労制度においても引き続き(1)の業務について外国人の受入れを希望している実習実施者

3 調査方法

アンケートアプリ（Google Forms）を使用して、本調査を実施いたします。以下のURL又はQRコードからアンケートフォームにアクセスし、各質問に回答してください（アンケートは送信ボタンを押して終了となります。）

【Google Forms のアンケート票のURL及びQRコード】

<https://docs.google.com/forms/d/1uY5xSqUNvwAKLdkkgb0zsmWFhxD7Z5qdXkL-ZqHU7go/edit>

アンケート回答用QRコード⇒



4 主な調査項目

- (1) 技能実習生を受け入れている事業所の業態
- (2) 受入れ中の技能実習に係る職種・作業（業務）
- (3) 実習実施者の名称及び実習実施者届出受理番号
- (4) 実習実施者の主たる業態

※ 上記の項目は、現在、特定技能制度においては行わせることができない業務で技能実習生を受け入れている実習実施者のうち、引き続き育成就労制度で外国人の受入れを希望する実習実施者の皆様への質問です。

※ 複数の事業所、職種・作業（業務）で技能実習生を受け入れている場合には、複数の事業所、職種・作業（業務）の数に応じて、複数回アンケートに回答してください。

5 本アンケートの対象者に該当するか否かを確認するためのアンケート【Q1】の回答に係るフローチャートについて

アンケートの【Q1】(現在、受け入れている技能実習生の職種・作業(業務)は、特定技能制度での受入れが認められていますか?)を回答するに当たり、以下のフローチャートを参照してください。

※技能実習2号移行対象職種であるものの、現在特定技能制度での受入れを行っていない職種(「家具製作」、「リネンサプライ」、「ゴム製品製造」、「アルミニウム圧延・押出製品製造」及び「ボイラーメンテナンス」)で技能実習生を受け入れている実習実施者は【Q1】において「いいえ(特定技能制度においては受け入れることができない)」を選択してください。

